

第 2 回 NPO 活動交流センター運営委員会 議事録

[日付] 2007 年 6 月 28 日(木) [時刻] 10:00 ~ 12:00 [場所] いわて県民情報交流センター6 階 団体活動室 2

出席者

* 敬称略

委 員	委員長	高橋 敏彦	特定非営利活動法人いわて NPO - NET サポート
	委 員	岩城 恭治	特定非営利活動法人夢ネット大船渡
		小野 仁志	特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズ
	鹿野 順一	特定非営利活動法人@リアス NPO サポートセンター	
	貫牛 利一	特定非営利活動法人やませデザイン会議	
	佐々木 昌子	特定非営利活動法人いわて NPO 事業開発センター	
	佐藤 英夫	特定非営利活動法人奥州・いわて NPO ネット	
湯川 秀俊	特定非営利活動法人カシオペア連携地域づくりサポーターズ		
NPO 活動交流センター	センター長	高井 昭平	
	事務局	遠藤 勝見	
		早坂 良和	
		工藤 智宏	
担当部課		吉田 光	岩手県地域振興部 NPO・国際課

開会

[NPO 活動交流センターセンター長 高井 昭平 挨拶]

議事

[第 1 議題] 平成 18 年度評価シートの集計報告

報告	評価シートの集計結果を報告した。
意見	意見等の記入欄にはどのような意見があったのか。
返答	活動に対する評価、アイーナ利用者の市町村分布と遠隔地への対応、評価項目の設定について等の意見がありました。集計結果は後ほど追加報告いたします。
意見	あげられた意見等は 19 年度の運営に活かされるのか。
返答	活かします。
意見	レターケースの運用はどのようにするのか。良い方法を立案できたのか。
返答	検討中です。仙台に視察に行ったが、仙台では利活用されていた。当センターで検討する方向として、レターケースを活用してどのような情報を発信するかということだと考えます。
意見	各分野ごと、地域の間支援 NPO をターゲットに利用促進を図ってはどうか。
返答	県と協議しながら見直しを行い、利活用促進を図ります。

[第 2 議題] NPO 活動交流センター平成 19 年度事業計画報告

報告	事務局より、県が作成した業務要求水準書、それに基づき当センターで作成した年間スケジュール表について報告した。
意見	ソフト事業の「地域ネットワーク」の形成 2 箇所以上というところについてだが、中間支援 NPO は基本的にネットワークを持っており、それによって成り立っている。また、数でなく中身の充実が重要ではないか。
返答	そのとおりですが、ネットワーク化が十分でない地域もあるので、形成に努めることとする。
意見	データベースのエラーが発生していたが、対応できたのか。
返答	担当者がエラーを修正しました。また、市町村合併などによりデータの更新が必要なものについては作業を進めているところです。
意見	メールニュース配信についてはどのようにしていくのか。
返答	6 月 11 日付で今後の対応について県に報告した。(人為的なミスが起こる危険性を排除する仕組みを検討し「メールディストリビューター」というソフトを導入する旨報告) 6 月 15 日の県からの返答は、セキュリティ対応について検討するようにということでした。それをうけ市販のメールソフト、アイーナのシステム、民間のメールマガジンシステム「まぐまぐ」を検討しているが、県も利用している「まぐまぐ」を第 1 に考えている。
意見	情報漏洩件数は何件だったのか。
返答	1512 件でした。大変申し訳ございませんでした。今回の件をうけ、個人情報の取り扱いに関する内部の行動指針を作成し、徹底しております。
意見	ホームページ、データベースなどを委員会の場で見ながら、意見、提案を出し合ってみてはどうか。
返答	次回の委員会開催時にそのようにします。
意見	アイーナは各階の情報がわかりにくく、迷う可能性がある。6 階では、他の階の催事の案内もしてくれて助かる。
返答	確かに、館内の表示がわかりにくいとおもいます。6 階への問合せも多いです。

[第 3 議案]NPO 活動交流センターならびに県民活動交流センター利用状況報告

報告	センターの利用状況を報告した。
意見	相談案件のデータベース、分析結果はどのように利用できるのか。
返答	皆さんと共有して、以後の相談対応に活かしたいと考えています。また、ホームページ上の Q&A のページにも利用できるのではないかと考えております。
意見	パスワード等のセキュリティ対策を行い、データベースにアクセスできるようにならないか。
返答	現状そこまでの整備は難しいが、皆さんからの問合せに対応することは可能です。
意見	今年度の相談内容の集計はあるか。
返答	あります。後ほど追加報告します。

[第 4 議案]NPO 活動交流センターに対する助言

助言	地域に情報を発信する手段がなく苦労している。また、地域のイベントでも全県に発信したいものもあるが、よい発信方法はあればよい。
返答	NPO カレンダー(紙媒体)を発行しているので、対応できると思います。
助言	情報紙にカレンダーを挟み込んで配布してはどうか。
返答	発行部数が異なるので難しい面もあります。カレンダーに掲載した情報を情報紙にも掲載することは考えられます。また、カレンダーの仕様変更を検討しています。
助言	地域ごとに情報を掲載すると分かりやすい。
返答	紙媒体では掲載できる情報量に限界があるので、カレンダーは盛岡地区の情報を中心に掲載し、地域ごとの情報掲載はホームページで行うことを考えています。
助言	ホームページアドレスを目に付く位置に掲載するなどしてはどうか。
助言	お互いのホームページのリンクの設定もうまく行いたい。
返答	ホームページの更新作業が効率よく行えるよう、情報を画像として編集するなどの案を検討しています。
助言	IT 化が遅れ、ホームページを見られる環境にない地域もあり、文書で情報発信している。NPO 活動の活性化の度合いと関わりがあるのではないか。
助言	情報発信しても認知度がなかなか高まらないという課題がある。
助言	認知度を高めるためにも、一緒に行える催事等を企画したい。
助言	情報発信を強化したい。
助言	館内を見ながら、取り組み結果、今後の課題についての報告をしてもらえれば分かりやすい。
助言	地域の活性化が課題。
助言	情報収集の手段としてホームページ、メールの重要度が高い。
助言	メールの返事が返ってこないという意見を聞いたが、もし本当であればマイナスだが。
返答	メールのチェック、返答は複数人でチェックしておりますが、漏れがなかったか再確認します。(確認後)漏れはないと思われるので、アイーナのシステムにはねられている可能性があり、メール送信時に電話での確認もしていただくようお願いいたします。
助言	ホームページを携帯電話に対応させたらよいのでは。出かけてから場所、時間などの確認をしたいことがある。
返答	今後の検討課題とします。

以上

記録 工藤智宏